

新放置自転車等管理システム導入業務_個別機能要件

大区分	小区分	No	要件
共通	操作性要件	1	パソコン、モバイル端末のメインメニューから、各機能呼び出せること。
		2	現場、職場の各業務に対応した誰にでも理解できるメニュー配置であること。
		3	入力する項目では、プルダウン選択等の入力アシストができること。
		4	同一処理機能内で画面遷移した場合は、遷移後の画面から前画面へ戻れること。 その場合、前画面の入力項目は保持されていること。
		5	誤操作防止、誤入力防止の入力支援機能やチェック機能を有すること。
	セキュリティ (係員、職員操作)	6	ログインの失敗が一定回数以上に達した際に、当該アカウントをロックできること。
		7	ログイン後、一定時間操作を行わない場合に強制的なタイムアウトができること。
		8	管理者アカウントから全ユーザーのアクセスログ（ログイン・ログアウト）が収集できること。
		9	端末にはMDM又はMAMサービスを導入してあり、業務上必要のないインターネット閲覧、アプリ、通話を制限することができること。
		10	パスワードの複雑さ（英字、数字、大小文字を含んだ設定）ができること。
		11	パスワードに代わる認証（指紋、顔、ICカード等）ができること。
アカウント管理	職員アカウント	12	職員ごとにログインID及びパスワードを設定できること。
		13	職員アカウント単位で、機能別に編集・承認・非表示（利用不可）の権限設定ができること。
		14	職員は自分のアカウントのパスワードを変更できること。
		15	特定の職員に管理者権限を付与できること。
		16	管理者権限のある職員は、他の職員のパスワードを初期化できること。
		17	各職員ごとに有効期限を設定でき、有効期限が切れた職員はログインすることができなくなる。
撤去現場 (モバイル端末)	入力方法	18	放置自転車等の登録は発見時から行うことを原則とし、発見の際は警告札にQRコード等を1台ずつ取り付け、これをモバイル端末で読み取ることで簡易に登録作業ができること。
	入力項目	19	現地での放置自転車等について、以下の情報がモバイル端末で入力できること。 ①イベント発生日時（発見、警告、撤去） ②撤去場所（駅名、ランドマーク、住所） ③車両区分（自転車、特定小型原付、一般原付、自動二輪） ④車両種類（自転車種類、原付メーカー） ⑤車両色 ⑥防犯登録番号、標識番号 ⑦車両状態 ⑧備考 各項目の入力時には、プルダウン選択などのアシストができること。 入力していない項目があっても、登録することができること。
		20	イベント発生毎に自転車の写真を複数枚添付することができること。

新放置自転車等管理システム導入業務_個別機能要件

大区分	小区分	No	要件
保管場所 (モバイル端末、PC端末)		21	イベント発生毎に位置情報を自動で記録することができること。
		22	情報入力の際に防犯登録番号をQRコードから読み込むことができること。
		23	道路損傷や不法投棄など、現場で発見した事象について、別途、報告する機能があること。
	閲覧	24	現場で入力した情報は、区職員がPC端末でリアルタイムに確認できること。
	入力方法	25	撤去された自転車等に取り付けられているQRコード等をモバイル端末で読み取ることで、撤去情報の追加入力や修正作業ができること。
	入力項目	26	保管場所での放置自転車等について、以下の情報が入力または修正できること。 ①イベント発生日時（保管場所） ②撤去場所（駅名、ランドマーク、住所） ③車両区分（自転車、特定小型原付、一般原付、自動二輪） ④車両種類（自転車種類、原付メーカー） ⑤車両色 ⑥防犯登録番号、標識番号 ⑦車両状態 ⑧備考 各項目の入力時には、プルダウン選択などのアシストができること。
	閲覧	27	保管状況の写真を複数枚添付することができること。
		28	自転車等の売却、リサイクル、廃棄する際に、QRコード等をモバイル端末で読み取ることで、棚卸作業が容易にできること。
		29	現場で入力した情報は、区職員がPC端末でリアルタイムに確認できること。
		30	保管場所で異議申し立てがあった際に、個人情報削除した客観的な証拠となる画面をモニターで閲覧させることができること。
告示 (PC端末)	告示業務	31	指定する撤去日（〇月〇日～〇月〇日までと範囲で検索できるものとする）ごと、保管場所ごとに、台帳の表示及び出力（Excel又はPDF）ができること。
		32	検索日時点での返還済み自転車等は、告示対象車両から除くことができるようにすること。
防犯登録等照会 (PC端末)	所有者照会	33	照会対象車の絞り込み時、照会日時点で返還済の自転車は照会対象車とならないよう自動的に除外できるようにすること。
		34	以下の情報を検索することで、所有者照会リストを表示できること。 ①撤去場所 ②撤去日（〇年〇月〇日～〇年〇月〇日まで） ③車両区分（自転車、特定小型原付、一般原付、自動二輪）
		35	照会対象車は、自転車とそれ以外に分け、それぞれ所轄警察署、各自治体へ照会できるようにすること。
		36	照会対象車は、防犯登録番号により警視庁管内と各道府県警察に分けて照会できるようにすること。
		37	所轄警察署、各自治体へ所有者の照会をするため、所有者照会リストはCSVファイルで出力できること。
		38	照会作業実施後、照会実施日を台帳に反映できるようにすること。
		39	照会先警察署（自治体）への照会依頼文書を、システム内で作成できるようにすること。
	照会回答取込	40	警察から送られてきた所有者照会リストの回答（CSVファイル）を取り込むことができること。

新放置自転車等管理システム導入業務_個別機能要件

大区分	小区分	No	要件
		41	回答取り込み時、郵便番号がないデータに郵便番号が自動的に反映されるようにすること。
引取通知 (PC端末)	引取通知書発送	42	引取通知書表面（はがき）及び引取通知者リスト（Excel又はPDF）を印刷できること。
		43	指定する移送日（〇月〇日～〇月〇日までと範囲で検索できるものとする）ごとに、引取通知者リスト及び引取通知書表面（はがき）の表示ができること。
		44	引取通知書表面及び引取通知者リストには、盗難届が出されている自転車は表示されないようにすること。
		45	引取通知発送日を一括で入力できること。
返還・処分 (PC端末)	返還処理	46	整理番号の入力又は引取通知書に記載されているQRコード等を読みとることにより、対象の自転車の返還日及び返還区分が自動で入力されること。
		47	自転車の返還日及び返還区分は手入力ができること。
		48	返還時に異議申し立てがあった際に、個人情報を削除した客観的な証拠となる画面を相手に閲覧させることができること。
		49	区の指定した書式で領収書の発行ができること。
	処分処理	50	自転車の処分日、処分区分（売却、リサイクル等）は、一括処理と個別処理のそれぞれの方法で登録できること。
		51	一括処理の場合は、以下の条件で検索し、処分日と処分区分を登録できること。 ①撤去場所 ②車両区分 ③移送日（〇月〇日～〇月〇日までと範囲で検索できるものとする）
		52	個別処理の場合は、QRコード等を読み取ることにより、処分日、処分区分を登録できること。
問合せ対応 (PC端末)	台帳検索	53	以下の情報で検索できること。 ①撤去日 ②撤去場所 ③保管場所 ④車両区分（自転車、特定小型、一般原付、自動二輪） ⑤車体番号 ⑥防犯登録番号
		54	防犯登録番号は、完全一致以外の入力でも検索ができること。
		55	PC端末では、検索専用の画面があり、職員はこの画面で問合せ回答に必要な全ての事項が確認できること。
		56	検索専用画面のスクリーンショット画像を、簡易な操作で区が指定したメールアドレスに送付できること。
	修正機能	57	台帳検索により選択した自転車の登録情報を修正することができること。
集計機能 (PC端末)		58	撤去駅や保管場所ごとに、日間、月間、年間の保管状況（保管台数、返還台数、処分台数、リサイクル台数）が表示、出力できること。
その他	データ移行	59	旧システムの台帳データを移行し、新システムでも検索閲覧ができること。
	データ容量縮小	60	一定期間を経過した台帳データのうち、画像データのみ削除して容量を縮小することができること。